未来予想図（みらいよそうず）

寝屋川市立梅が丘小学校　　２０２４・１・１９

校長室通信　　No. ３８

「人間」と「動物」との大きな違いは・・・？

３学期の始業式（１月９日）で話した内容ですが・・・。

何年か前に、動物病院の先生とお話をさせていただく機会がありました。
その時、その先生から、こんなことを聞かれました。「人間と動物の大きな違いは何だと思いますか？」
校長先生は、「話すことができる、できないという違いがあると思います」と答えました。
それを聞いて、動物病院の先生は、「そうですね。話すことができる、できないという違いがありますね。それ以外に、けがをしたり、病気になったりした時、人間は、隠そうとはしませんが、動物は隠そうとするというのが、人間と動物の大きな違いなのです」とおっしゃっていました。
そしてその後、動物病院の先生は、こうおっしゃいました・・・。

例えば、動物も、人間と同じように、ガンのような重い病気にかかることがあります。大けがをして痛い思いをすることもあります。
そんな時、人間なら、しんどいとか、痛いとか、まわりの人に言って、助けてもらいますよね。でも、動物は、体調が悪いことを隠そうとします。
なぜかと言うと、動物は、ケガや病気をしていることを他の動物に知られてしまうと、その動物に襲われたり、食べられたりしてしまい。だから、動物は、自分が弱っていることやしんどいことを隠し、誰にも見つからないところに行って、静かに隠れて死ぬのです。
家で飼われていない猫のことを「野良猫」と言いますが、道ばたで、あまり野良猫が死んでいるのを見かけませんよね。これは、猫は、自分が弱っているなと思ったとき、本能的にまわりの動物に襲われないよう、だれもいないところへ行って、静かに死ぬからなのです。

人間は、ケガをした人や病気の人を見たら、襲うでしょうか。
人間は、そんな時、助けてあげようとするのが普通です。
梅が丘小学校でも、ケガをした人を保健室に連れて行ってあげたり、先生を呼びに来てくれたりしています。優しい心を持っている人がいっぱいいます。ぜひ、その優しい心を大切にしてほしいと思います。
また、自分が困っているときや具合の悪い時は、遠慮せずに、
まわりの友だちや先生に、伝えてください。みんな優しい心を持っているので、必ず力を貸してくれます。これからも、みんなの優しい心で、まわりの人たちを優しく包んであげることのできる人間になってほしいと思っています。

5年生が「車いす体験」を行いました！！

５年生は、１月１５日（月）に、ボランティアグループのうらしまさん・校区福祉委員会・保護者の方々にご指導いただく中で、「車いす体験」を行いました。
梅が丘小学校のみんなには、「お年寄りや障がいがある方々をはじめ、すべての人に、温かい気持ちで接することのできる、優しい人になってほしい。そしてまた、年齢、性別、個人の能力差、国籍など、さまざまな特性や違いを超えて、自分たちに何ができるのかといったことについても考えていってほしい。」と思っています。
人間は、一人ひとりがみんな違っていてあたりまえであり、違っていることは、すばらしいことであること、そしてまた、性格や体格、好きなもの、年齢など、いろいろなことが違っても 、自分を大切にしてもらいたい気持ち、 自分を認めてほしい気持ちは、すべての人が持っていることなど 、人との違いを尊重する気持ちを持つ中で、梅が丘小学校のみんなが、「温かく優しい人間」として成長していってくれることを、心から願っています。

当日は、ボランティアグループのうらしまさん・校区福祉委員会・保護者の方々にご指導いただきました。

寝屋川市社会福祉協議会から、車いす１７台をお借りし、３～４人１グループで、車いすの乗り方や介助（かいじょ）の方法を学びました。坂を下るときは車いすを後ろ向きに動かすことも教えていただきました。

その後、自分一人で車いすを動かす方法を学ぶとともに、車いすに乗ってボールを運ぶ競技などの体験も行いました。